

ご挨拶

公益社団法人 富山県建築士会 会長 中野健司

去る6月4日に開催されました第65回通常総会・その後の新理事会におきまして、皆様の推薦により会長として再任されました。ここに、紙面をお借りし一言ご挨拶申し上げます。

本会は公益社団法人として4年目となりますが、この間、会員の資質向上や地域貢献活動の拡大に向けて、監理技術者講習等多様な講習会の実施や地震防災・空き家対策等活動の幅を広げてきました。

また、「和の住まい」や「職人技術のゆくえ」についてのシンポジウムや職人アーカイブの冊子発刊等、ややもすると日本人が忘れかけ、逆に外国から評価を受けている日本の建築文化にも目を向けた活動をしてきています。

このように幅広い活動ができましたのは、ひとえに会員・賛助会員の皆様並びに県及び各市町村や関係諸団体の皆様の暖かいご理解とご支援の賜物と、ここに改めて感謝申し上げます。

さて、私たち建築士・建築士会の果たすべき重要な使命は地域社会の健全な発展と国民が願う安全・安心で快適な暮らしを共に創造することであり、その担い手である優れた建築士を育て、地域社会で活躍してもらうことと認識しています。ご承知の通り、建築士会は個人の会員で構成され、その構成員の職域は設計・施工・教育・行政・まちづくり・建築産業等々と多岐に渡っています。多様な職域に広がる全ての建築士に対し、その業務に必要な知識・技能の維持・向上をを図るために、建築とまちづくりに関する様々な研修を実施すると共に、併せて、建築士の業務環境の改善に向け、努力していく必要があります。建築界を網羅する様々な職域に存する会員それぞれの素晴らしい魅力に光を当て、総体の建築士が生き活きと活躍できる環境となるよう公益活動を実践していく事が重要と考えています。

また、高齢化によるリタイアや、若手の資格者の減少が続く中、担い手不足が建築業界でも深刻化し、一方で地震や台風等の大型災害が全国的に多発しており、地域の復旧活動や防災、まちづくり事業が厳しい状況となっています。幸い、本県は大きな災害に遭遇していませんが、災害に備えて自治体・地域と連携し、社会貢献活動を推進していく事が本会の責務でもあります。そのため、本会としましては建築3会を始めとする関連団体との連携を深め、建築業界が直面している諸課題について県を始めとした行政機関等に要望・協力していく事が増々重要なものと認識している次第です。

終わりに、これまで本会を支えてこられた団塊世代の方々がリタイアされる時代となり、会員減少が続いていますが、皆様のご協力とご支援により、より魅力的な建築士会となるよう、新役員と一致協力し本会事業を推進することとしておりますので、県及び関係団体の皆様、並びに会員そして賛助会員の皆様のご理解とご支援を改めてお願いし、会長再任の挨拶とさせていただきます。

平成28・29年度役員

- ・会長：中野健司
- ・副会長：今村彰宏 近江吉郎
- ・専務理事：土倉範行
- ・常務理事：松平輝之 山本幹史 徳田義弘 加藤明博
- ・理事：大坪辰弘 南保史朗 松井哲雄 杉本隆一 山下重利 稲垣由希子 鈴木保二
西野晴仁 根塚三起生 江本優 竹林正宏 林芳宏 山口孝芳 向山武俊
白井宏嗣 中谷元秋 山崎秀二 青野茂和 中井美幸 松井昌一郎 林信宏
- ・監事：小見美由紀 齊藤弘志

◆ 事務局

第 59 回建築士会全国大会「大分大会」

日時:平成 28 年 10 月 22 日(土)

会場:別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ(別府市)

申込締切:平成 28 年 7 月 29 日(金)まで富山県建築士会事務局に、会誌 5 月号の参加申込書を提出してください。

◆ プロフェッション委員会

「ピーター・ズントーとスイス建築」講習会開催のご案内

日時:平成 28 年 7 月 16 日(土) 18:30~20:30

会場:サンシップとやま(富山県総合福祉会館)703 号室(富山市安住町 5-21)

講師:上梅澤 保博氏(上梅澤建築設計事務所代表)

内容:ピーター・ズントーの建築と日本の伝統的な建築の共通点について

建築 CPD:2 単位(CPD カードをお持ち下さい。)

定員:先着順 30 名(どなたでも参加できます。)

参加費:会員 500 円 会員外 1,000 円
学生 200 円(資料代を含む)

申込先・申込期限:平成 28 年 7 月 12 日までメール又はファックスで下記まで
(E-mail:kami@k-kentiku.jp FAX:050-3737-5472)

問合せ先:プロフェッション委員会 担当:上梅澤
TEL(070-5636-8880)

◆ 氷見支部

「氷見自然素材研修会」開催のご案内

日時:平成 28 年 7 月 9 日(土)10:30~16:00

集合場所:氷見市役所 駐車場 氷見市鞍川 1060

会場名:café 風楽里(氷見市触坂 1585-1)自家農園ならではの新鮮な料理を堪能。

(有)宮内工務店(氷見市岩瀬 1835)燻煙乾燥木材について学ぶ。

竹の店 坂田商店(氷見市三尾 672)竹細工体験学習。

建築 CPD:3 単位

定員:20 名程度(どなたでも参加できます。)

参加費:会員 2,000 円 会員外 2,500 円

但し、café 風楽里 飲食代は各自負担願います。

申込先・申込期限:平成 28 年 6 月 30 日までメール又はファックスで下記まで
(E-mail:take3334@pl.cnh.ne.jp FAX:0766-74-3344)

問合せ先:氷見支部 担当:向山武俊

(携帯:090-1630-7277 電話:0766-74-3334)

◆ 富山支部・上新川支部

住宅講座(富山支部・上新川支部・新建富山支部共催)

日時:平成 28 年 8 月 27 日(土)10:45~12:30

会場:呉羽ハイツ(富山市吉作 4103-1・TEL076-436-0191)

講師:伊礼 智氏(伊礼智設計室主宰)

テーマ:設計の標準化からうまれる住まい

定員:先着順 150 名(どなたでも参加できます。)

参加費:会員 2,000 円 一般 2,500 円

参加申込:同封のチラシにてお願いします

◆ 高岡支部

「大分全国大会」参加と大分・博多研修のご案内

日時:平成 28 年 10 月 21 日(金)~23 日(日)

見学場所:福岡/博多周辺~大分全国大会~湯布院周辺建築ウォッチング

内容:「熊本地震」の発生で熊本・大分県では市街地から山間部までの広い範囲で被害が発生しました。今回は、自分の目で被害の状況を確認するとともに、「大分全国大会」に参加し、少しでも盛り上がる大会に協力したいと思います。また、博多まち歩き・隠れた魅力探りツアーや湯布院駅舎から美術館・博物館巡り等盛りだくさんの企画で 3 日間過ごしていきたいと思っています。詳細は、参加者の皆さんに追ってご連絡いたします。

定員:先着順 15 名(どなたでも参加可)

参加費:¥70,000 程度(交通費・宿泊費等含む)

申込先・申込期限:メール又はファックスで下記まで
(定員になり次第締切)

(E-mail:takaoka-shibu@toyama-kenchikushikai.or.jp
FAX:0766-27-8788)

問合せ先:高岡支部事務局 担当:樋口(TEL:0766-27-8787)

◆ 富山県

平成 28 年度 被災建築物の「応急危険度判定講習会」の開催について

大地震の後の余震等による人命にかかわる二次災害を防止するため、被災した建築物を調査し、倒壊や外壁・窓ガラス等の落下等による危険性を判断する「応急危険度判定」に関する講習会を次のとおり開催します。

まだ応急危険度判定士になっていない建築士の方は、受講していただくようお願いいたします

また、平成 23 年度に認定を受けられた方は、今年度が更新の年ですので、なるべく受講いただきますようお願いいたします。なお、申込用紙等の詳細は、8 月号の会誌に封入します。

日時:平成 28 年 9 月 21 日(水) 13:30~17:00

場所:富山県民会館 304 号室(富山市新総曲輪 4-18)

平成 28 年度活動報告会/第 65 回通常総会

平成 28 年 6 月 4 日(土)、富山電気ビルにて平成 28 年度活動報告会及び第 65 回通常総会が行われました。

活動報告会では青年委員会委員長の岡崎光晴氏(富山支部)、女性委員会委員長の水木和代氏(砺波支部)より、それぞれ昨年度に実施した事業

について報告がありました。

青年委員会からは「青年建築志」の集い、銅版レリーフ作り、一級建築士製図試験課題の参考事例見学会等。



女性委員会からは「ナガオカケンメイ氏トーク&セッション」、仕事報告会「建築×グリーン」、濱田修氏講演会「建築×環境」等の報告がありました。これらについては昨年度のレポートネットにも具体的な内容が掲載されておりますので、ご一読いただけると幸いです。



活動報告会から引き続き通常総会です。議事は第1号議案の「事業報告と決算の承認」、第2号議案「理事及び監事の選任」でした。理事・監事は今回の総会で役員の任期が満了

となるため改選が行われました。1号・2号議案とも出席代議員全員の賛成により承認されました。



予定された議案の審議及び報告事項が終了した後に議長より他に意見等を求めたところ、稲垣英優代議員(富山支部)より、士会員の減少が続いていることについて、その原因と対応策についての質問がありました。

これに対し、中野会長より、減少理由として、会員の多くを占める 60 歳から 70 歳の世代がリタイアする時期になったこと、少子化と法改正により新たな建築士が少なくなっていること、また、会員減少の対応については有効策がなく、会員の地道な努力と若い青年・女性委員会の活動に期待したいとの応答がありました。

懇親会の様子を見ていると。

交流会は新たな出会いの場でもあり、情報収集・交換の場でもあります。アクティブに活動されている諸先輩方のお話を伺える、数少ない貴重な場であると常々感じています。



熊本地震義援金募金箱

集まった義援金は、熊本県建築士会を通じて被災地の援助に役立てていただきます。



記念品贈呈

平成 27 年度に受賞・表彰された方に記念品が贈呈されました。



交流会

総会後に盛大に行われ、会員間の親交を深めました。

建築士とは、建築士会とは。自身はどうあるべきか？

建築士としての職務の遂行、また地域貢献活動をサポートする建築士。誰のための、何のための建築士、建築士会なのか。活動報告会と総会に出席して、建築士会の会員として自分自身を見つめ直す機会となりました。

| 富山支部、総務・広報委員会 | 中根 慶治郎 |

『森と暮らし』（未来に、子供たちに豊かな森を残すために） 婦負支部



平成 28 年 5 月 22 日(日)、『森と暮らし』をテーマにこれまでの森（なぜバランスを崩したのか？）これからの森（どう維持していくか？）等について、未来に、子供たちに、豊かな森を残すためにどうすべきかを 株式会社やまりん 代表取締役 山田賢さんに講義いただきました。山田さんは山田村の奥地に住居があり自然を守るためと、命を守るために森に関連する仕事に日々取り組んでおられます。

木を伐り、草を刈り、野生鳥獣の駆除をしながらチェーンソー・刈払機の講師も進んで引き受け、活動されています。山田さんが狩猟を始めたきっかけは、近所の農作物が鳥獣被害を受け、自宅の裏でも痕跡が目撃されたため、家族を守らなければ！と思ったことだそうです。

富山県には、海辺から 3 千 m 級の高山（こうざん）まで、

私たちの暮らしに深いかわりを持つ、さまざまな姿をした森が広がっています。

水源を涵養する森は『緑のダム』と呼ばれています。最近日本各地で水不足と聞くが日本は水が豊かな国のはずです。日本は世界平均降水量のほぼ倍の降水量があり、私たちの使用する水の大半は川から得ています。

しかし日本の川は狭く急で季節変化や自然災害による流量の変化が著しいので有効に活用しにくいのです。また生活レベルの上昇により水の使用量も増えています。県内の常願寺川の上流にある有峰湖の周りには、ブナやミズナラを中心とした豊かな森が広がっています。

この富山の豊かな森が山崩れや土砂災害をおさえ、『緑のダム』として有峰湖の豊かな水を育み、私たちの水源を支えているのです。又、五箇山（南砺市）は豪雪地帯と知られています。菅沼集落の後ろには『雪持林（ゆきもちりん）』があり雪崩を防ぐ林があります。海も豊富な富山県では潮風から暮らしを守る『海岸林』が人の手で植えられ、育てられています。

人々の暮らしにとっても大事な森、暮らしの中で利用することにより保たれてきた森ですが、人の手が入らなくなった最近では熊やイノシシ等が森を通って人里に出てきています。

自然環境を守る、そして生活を守る、基本ではあるがとても大切なことではなかろうかと改めて感じました。

実務を基に解説

人が暮らしの中で利用することにより保たれてきた里山林、人の手で植え守り育て木材を生み出す人工林。
人々の生活には どちらも人が手を加えることが大事ですね。

参加人数
22 名



きこり

森をつくる仕事と木材を収穫する仕事。
木の切り方を解説していただきました。



狩猟

森の番人として農作物を鳥獣被害から守る外、獣類の繁殖抑止力となっています。



富山市の某ワインバー

山田さんのジビエは富山市でも戴くことができます。

森を守る！！

我々建築士は森に対しては消費（建築資材として使用）側に日々接していますが、育てる側に少しでも関心を持ち参加できることはあると思います。改めて森の大切さに関心を持ってましたことに感謝いたします。

婦負支部 江本 優